

12月21日にi-Constructionの取り組みの一環で建設現場の省力化をはかる、ICT技術を活用した工事の手順を理解することを目的とした「i-Construction実践セミナー」を開催しました。民間企業と行政関係者合わせて約150名が参加し、午前には富士教育訓練センターでドローンを使った地形測量や3次元設計データの作成の手順などを学んでいただきました。午後には大沢扇状地でオペレーターの操作を自動でアシストするMC（マシンコントロール）バックホウのデモ操作やドローンによる測量の実演などを行いました。

- ◆日 時：平成28年12月21日（水） 9:00～15:30
- ◆場 所：富士教育訓練センター及び、大沢扇状地
- ◆参加機関：静岡建設業協会、清水建設業協会、富士建設業協会、岳南地区測量設計技術研究会、ICT導入普及研究会、静岡県、静岡市、富士市、富士宮市、国土交通省
- ◆参加者：約150名



MCバックホウとは

GPSや様々なセンサーの情報から機械の位置や動きを把握し、事前に入力しておいた形状にあわせて自動で掘削する事が可能なバックホウ。

国土交通省よりi-Constructionの取り組みについて説明 MCバックホウを操作する参加者



ドローンによる測量の実演状況



MCバックホウのデモ操作状況